

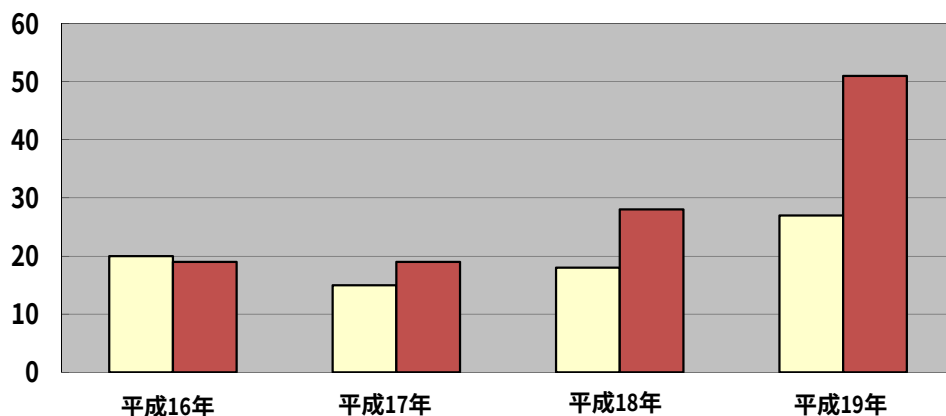
業務名

防災対策の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
災害警備部隊出動回数	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	20	15	18	27	回
災害警備訓練の実施回数	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	19	19	28	51	回
災害警備に従事した警察官数	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	10,273	1,175	1,673	2,378	人

□災害警備部隊出動回数 ■災害警備訓練の実施回数



○業務の主なコスト

№	事業名	平成19年度事業費 (千円)	平成20年度事業費 (千円)
1	災害警備対策費	133,253	36,554
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		133,253	36,554

○平成19年の取組み

●4月15日、「三重県中部を震源とする地震」により、負傷者12名の人的被害と121戸の建物被害(一部損壊)が発生したが、早期に所要の体制を確立し適切に対応した。また、これら自然災害の発生時や気象警報の発表及び被害発生状況に応じて警察本部及び各警察署に災害警備本部を設置し、災害警備活動を実施した。

●災害警備訓練としては、「三重県警察総合防災訓練」(警察本部及び警察署)、「中部管区広域救急援助隊合同訓練警備」(富山県)、「三重県警察大震災総合警備訓練」(警察本部)等実戦的訓練を実施するとともに、「三重県総合防災訓練」や「各市町防災訓練」等、関係機関が実施する防災訓練に積極的に参加するなど連携強化を図った。

●「三重県警察総合防災訓練」の一環として、三重県防災危機管理部地震対策室専門監を講師として招き、職員に対して「みえの地震について」の教養を行うとともに、三重県主催の災害対策セミナー等にも積極的に参加するなど防災意識の向上に努めた。

●震災時に警察活動の拠点となる警察施設の耐震化工事(伊賀警察署)を行うとともに、災害現場に必要な装備資機材の整備・充実を図った。

○課題と平成20年の取組み

●防災関係機関が有機的に災害警備活動を実施するため、一層の連携強化を図り、各種防災対策の推進強化に努める。

●警察活動の拠点となる警察署など警察施設の整備を始め、引き続き装備資機材の整備・充実を図る。

●平成20年度中の災害警備訓練として、「中部管区広域救急援助隊合同訓練」(10月・石川県)のほか、「三重県警察総合防災訓練」など、実戦的訓練を実施し、災害現場における救出救助能力等の向上を図る。